

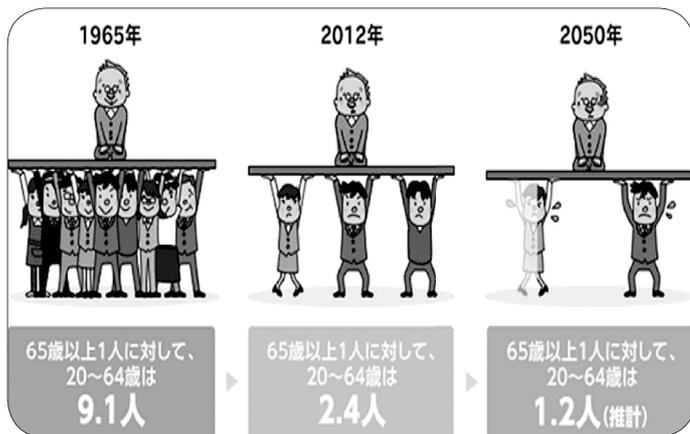


# 介護保険の現状と取り組みを調査 介護予防の充実で安定した運営を

委員長 島田 榮一 委員 月田 均  
副委員長 三友美恵子 柳 沢 浩一  
宇津木 治宣

所管事務調査日：平成29年9月8日

●**介護保険特別会計の現状**  
平成27年度に介護保険料を値上げしたことや介護給付費の単価引き下げにより支出が抑制されたことなどで、平成27、28、29年度と県から新たな借り入れがなく安定した状況である。  
給付費は介護保険の利用者や利用回数が増加しているため、緩やかではあるが増加している。なお、現在実際にサービスを利用している人は1211人である。



ますます進む高齢化社会

●**今後の取り組み**  
全国で介護給付費の増加が問題となっているが、早急に解決できないため、先を見据えた健康の維持、介護予防に力を入れて給付費を抑制していく。  
介護予防については、筋トシやふれあいの居場所、さらに今年度、認知症の人を早期に発見・対応することで本人や家族の負担を少なくする認知症初期集中支援チームを設置する予定である。



足腰鍛える筋トシ体操



スポーツ吹き矢で介護予防

### まとめ

介護保険については、現在安定した運営が行われていた。これは、今年度策定中である第7期介護保険事業計画において、介護保険料算定にもよい方向に影響するものと思われる。  
しかし、今後さらに少子高齢化が進む中、運営も厳しさを増すと考えられる。そこで、早い段階から支援していくことで、将来要支援、要介護にならないよう、今まで以上に介護予防に力を入れて取り組むよう期待する。